

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	泉南市子ども総合支援センター（児童発達支援事業）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 47
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援事業として集団療育（リバースクール）と個別療育（NEST）を実施しています。	・個々の子どもの発達やニーズに合わせて支援を行う事で自立に向けた支援の工夫を行っています。またリバースクールでは保護者の方に親子療育や行事参加等親子で過ごす時間を意図的に設けたり、NESTでは療育に同伴していただく事でより具体的に子ども達の様子を保護者の方と情報共有を行っております。	・日々の送迎時間や懇談、その他面談等により、保護者の方との情報共有の時間を大切に相談援助が行える体制づくりを行っています。
2	・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理師・発達相談員・看護師等の多職種で考え合い支援を行うことで、多面的な視点でのアセスメント・評価や支援を提供することができます。	・療育を行う中で改善点・疑問点や支援内容の見直し等がある場合は各専門性の意見を聞き検討を行っています。	・研修等でそれぞれの専門性のスキルアップを行いながら、今後も各専門職のアセスメントを参考によりよい療育に繋がっていきたく思います。また、子ども達が関わっている関係機関との連携の充実を強化できるよう取り組んでいきます。
3	・子ども一人ひとりの観察をしっかり行い、発達段階に合わせた支援や活動を提供し、子どもの状態やペースに寄り添い支援を行えるよう努めています。	・担任・児発・その他職員が子どもと関わる中でそれぞれの視点からアセスメントを行い連携し、支援方法を相談・見直しを行い、日々の療育につなげています。	・支援方法を検討する中で子ども一人ひとりの興味や課題に添った支援グッズをさらに充実させ、提供していきたいと思えます。また、実際に子どもと関わっている職員が日頃の様子を客観的に見れる行動観察の機会を設け、今後の支援につなげられるよう取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設内の環境整備が必要な箇所がある。	・施設が古いため。	・建物については危険が無いよう、今後もその都度、市役所に依頼し修繕を行っています。また修繕以外にもステップ台やパーティション等を活用して今後も子ども達にとって安心して生活できるよう環境づくりを工夫します。
2	・地域交流の場が少ない。	・リバースクールではこども園との交流の機会を設けるなど徐々に交流の機会を増やしています。交流の仕方等検討しています。NESTに関しては地域の未就学施設に在籍であるため個別療育を目的としております。	・リバースクールでの地域交流の機会としてセンター職員以外のひととの交流（センターに来所してもらう・地域の施設に散歩に行く等）を子ども達の状況に合わせて増やしています。今後、地域の方にもセンターのことを知ってもらうための取り組みを検討していきたいと思えます。
3	・保護者の方への情報伝達が不十分な事がある。	・災害や火災・不審者等の各訓練や感染症・事故防止等の各種マニュアルを閲覧できるよう設置したり、訓練実施の貼り紙を行っているが全保護者に伝わっていない。	・より分かりやすい掲示方法とICTシステム（コドモン）の活用を充実を検討していきます。